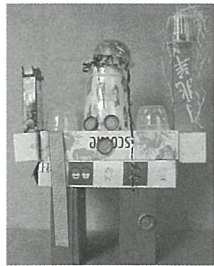




1年 鈴木 翼くん



『スーパーロボット』

※けんをもたせたり、ガードをつけたりしたんだよ。すごかったよ。いでしょ。



2年 吉田 絢さん



『お花畑のうさぎ』

※うさぎのおめんを作りました。うさぎの耳にお花とリボンをつけました。

あつまれ みんなの力作

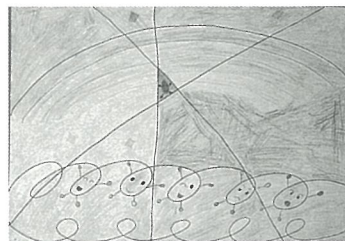


『トコトコがめ』



3年 鈴木 涼くん

※親子のかめです。糸をひくばると「トコトコ」と歩きます。かわいがってね。



『雲の上の虹の国』

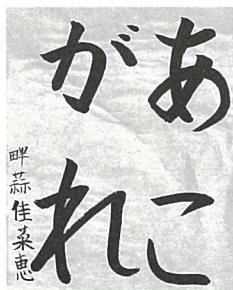


4年 平山 未咲さん

※虹の国になるように、色えん筆で明るいかんじを出しました。



5年 畔蒜佳菜恵さん

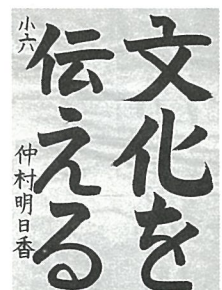


『あこがれ』

※字と字の間がくをあげすぎないように気をつけて書きました。



6年 仲村明日香さん



『文化を伝える』

※「はらい」や「あれ」に気をつけて書きました。六文字は、むずかかったです。



ひかり歌壇

伊藤 定男(尾垂)  
コンバイン白鷺従え刈り進む  
穏しき農村秋の一こま  
刈り進むコンバインの後に餌を漁る白鷺

藤代 敏子(宮内)  
老人車に縋る彼岸の墓参り  
吹く風漸く秋めきて来ぬ  
不自由な足をひきながらの墓参風景

土屋 好(虫生)  
いつしかに夫は八十路を踏み始め  
敬老の日に杖賜わりぬ  
杖を戴くような齢になっちゃった

鈴木 益郎(原方)  
霧の中朝の散歩の栗山川  
墨絵の如き別世界なり  
朝の栗山川ペリを散歩する作者の姿が見えるようである

高梨 キヨ(長塚)  
語らずも足る夫と居て一碗の茶を楽しむぬ午後のひととき  
三時のお茶を楽しむ夫婦のひととき、最高の幸せである

評者詠 鈴木甲子幸  
看護士となりたる教え子若き日に  
吾を写せし写真持ち来る